

社協だより ふくし しらはま

社会福祉法人
白浜町社会福祉協議会

〒 649-2324 白浜町十九洲 274 番地の 1
TEL 0739-45-2711 FAX 0739-45-2777
Eメールアドレス info@shirahama-syakyo.jp

日置川支部

〒 649-2511 白浜町日置 197 番地の 1
高齢者生活福祉センター夢の里内
TEL 0739-52-2111 FAX 0739-52-2666
Eメールアドレス hikigawa@shirahama-syakyo.jp

令和3年度 白浜町社会福祉協議会事業計画

我が町における「地域共生社会」の実現をめざして

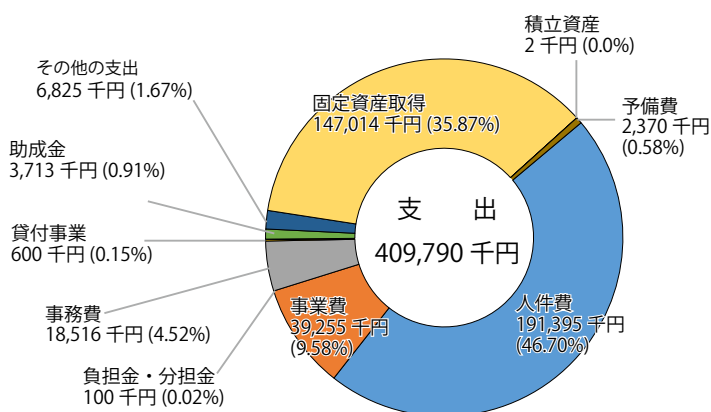
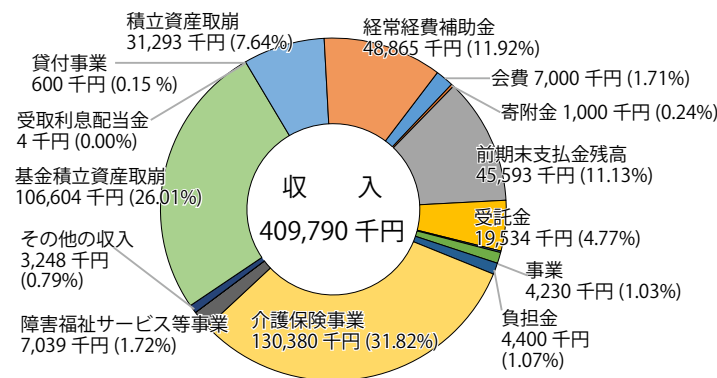
【新たな取り組みの推進をめざして】
本会は令和3年度も感染対策を十分講じながら、今まで取り組んできた事業を引き続き推進するとともに、新たな取り組みも盛り込んで事業を実施していきます。

【新たな取り組みの推進をめざして】
ご近所福祉体制づくり事業では、社会福祉充実計画事業として移動カフェ事業を新たに計画し、アウトリーチによる住民のニーズ把握や住民の集える場づくりを推進することとしました。

また、在宅介護事業では、訪問介護事業、通所介護事業に新たな方式のICT（情報通信技術）機器を導入し、業務の効率化と適切な人員配置を行うことによる効率的な事業経営をめざし、各事業の安定化を図ります。

また、在宅介護事業では、訪問介護事業、通所介護事業に新たな方式のICT（情報通信技術）機器を導入し、業務の効率化と適切な人員配置を行うことによる効率的な事業経営をめざし、各事業の安定化を図ります。

令和3年度 予算



【福祉のまちづくりをめざして】
人と人との繋がりがりづくりや交流活動が、これまでの形では行えなくなつた今、新たな形の繋がりがりづくり、交流の形を模索し、構築していくことに取り組みむことが求められています。本会は、住み慣れた地域における繋がりのある暮らし、安心感のある暮らし、そして「ふだんのくらしのしあわせ」の

実現をめざして、地域の住民、民生委員・児童委員、福祉委員、ボランティア、町内会・区、学校、他の事業者、関係機関等と連携を図り、「ともに生き、ともに支え合う福祉のまちづくり」活動を進めていきます。

福祉相談所設置日程

【時間】午後1時30分から午後4時
(当日受付は午後3時まで)

1人約15分程度の相談となります。

【予約およびお問い合わせ】

白浜支部 : TEL 45-2711

日置川支部 : TEL 52-2111

※お申し込みは、各支部事務所まで。

※混雑する場合や日程の変更、中止の場合もございますので、事前にご予約ください。

白浜本部

日程	内容	会場
5/10	司法書士	本部事務所
5/17	法律	青少年研修センター
5/24	成年後見	本部事務所
6/7	司法書士	

日置川支部

日程	内容	会場
5/7	法律	川添山村活性化支援センター
5/19	人権	高齢者生活福祉センター
6/4	法律	

※各相談は、中止とさせていただく場合がございます。実施の有無を確認、ご予約の上、ご来場ください。

グルメシティ白浜店様

幸せの黄色いレシートキャンペーン

昨年度、グルメシティ白浜店様の「幸せの黄色いレシートキャンペーン」に登録させていただきました。この活動は、キャンペーン実施日にレジ精算時に受け取られた黄色いレシートを応援したい団体の投函BOXへ入れていただくと、お買い上げ金額合計の1%が地域ボランティア団体などに希望する品物で寄贈される取り組みです。

令和2年度寄付金額 28,959円

本会BOXにご投函いただいた皆さま、グルメシティ白浜店様、誠にありがとうございました。本会が実施する地域福祉事業に活用させていただきました。今年度も「幸せの黄色いレシートキャンペーン」へのご協力をよろしく申し上げます。



中学生が主体となって取り組む地域のつながりづくり 富田中学校 富中サロン

富田中学校では、中学生と地域住民、地域企業の方々等が交流できる場として、富中サロンを開催しています。

富中サロンでは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、まだまだ多くの住民の皆さまと集まってのサロン活動としては実施できない状況の中、自分たちが学んだ手指消毒の方法をより多くの方々を知ってもらいたいと、この度手指消毒啓発ポスターの作成を行いました。この啓発ポスターは、南紀白浜空港やJ R白浜駅、富田中学校区の各小学校や高齢者施設、スーパー等の手指消毒設置場所に掲示をお願いしています。ポスターの作成にあたり、地域住民やクオリティソフト株式会社のボランティアの皆さんにご協力いただきました。本当にありがとうございました。

今、新たな住民同士のつながりづくりが困難な状況です。しかし、そのような中でも住民同士の支え合い、助け合いのできる地域づくりを進めるため、今できることを皆さまと共に考え推進していきますので、今後もご協力の程、よろしく申し上げます。



※社協だよりは、共同募金配分金や社協会費等を活用して掲載しています。